



平成 31 年 3 月 18 日



「静岡県の心理職・児童福祉職 現地見学ツアー」を開催しました

(富士児童相談所・吉原林間学園)

平成 31 年 2 月 26 日 (火) に「静岡県の心理職・児童福祉職 現地見学ツアー」を開催しました。県内外の大学 (大学院) で心理・福祉を学ぶ学生に参加いただき、児童相談所や学園の様子、心理・児童福祉職員の仕事内容について見ていただき聞いていただきました。参加された学生の皆様、開催に御協力いただいた大学関係者の皆様、ありがとうございました。

1 開催日

平成 31 年 2 月 26 日 (火) 13 時 30 分～16 時 30 分



2 参加対象

大学 (大学院) で心理又は福祉の勉強をされていて、県の心理職・児童福祉職や児童相談所・児童心理治療施設の仕事に関心のある学生

3 参加募集

(1) 募集方法

大学 (心理・福祉関係の学部・学科のある) への案内通知の送付、県ホームページへの掲載、大学関係者に対する個別連絡

(2) 募集期間 平成 31 年 1 月 15 日 (火) ～2 月 12 日 (火)

4 実施日程

10:30	集合 (J R 富士駅又は新富士駅)
11:00	富士児童相談所 ・心理職・児童福祉職、採用試験等の概要説明 ・見学・概要説明
12:15	昼食・休憩
13:00	移動 (富士児童相談所→吉原林間学園)
13:30	吉原林間学園 ・見学・施設概要説明
15:00	職員 (富士児童相談所・吉原林間学園) とのフリートーク
16:00	移動 (吉原林間学園→J R 富士駅又は新富士駅)
16:30	解散

5 参加学生数 18 名

専攻	心理 10 名、福祉 8 名	学 年	大学 17 名
大学所在地	県内 9 名、県外 9 名		(1 年 6 名、2 年 5 名、3 年 6 名)
性別	男性 6 名、女性 12 名		大学院 1 名 (1 年)

《参加学生に対するアンケート調査（見学ツアー終了後実施）の結果から》

1 見学ツアーに関する情報の入手経路

（複数回答のため参加者数より多い）

① 大学の教授・講師等から知った	6
② 大学の就職担当部署から知った	7
③ 友人・知人から知った	2
④ 静岡県のホームページで知った	4



2 見学ツアー参加の目的

① 大学の勉強の参考としたいため	0名
② 将来の進路を考える上で参考としたいため	14名
③ ①と②の両方	4名



3 将来の意向について(1)

（静岡県職員の採用試験を受験する希望・予定）

① 受験したい	5名	② できれば受験したい	6名	③ わからない	7名
---------	----	-------------	----	---------	----

4 将来の意向について(2)

（静岡県職員の採用試験を受験するとしたらどの職種で受験するか）

① 心理	8名	② 児童福祉	7名
③ 心理又は児童福祉	1名	④ 児童福祉又は行政	2名



5 参加学生の感想・意見（抜粋）

（1）現地見学ツアーに参加して

- ・全体的な児相、児童福祉の場（施設等）が見られて、体制やしくみがだいぶ分かった。どんなことをしているのか分かって、ビジョンがつかめた。自分でもやってみたいと思えた。
- ・県職員は何をしている所だろう、他の心理職と比較してどの様なメリットがあるのか知ることができた。
- ・心理職や児童福祉職の仕事はネットの情報等だけでは理解することが難しいところも大きかったため、実際に参加して見学できてよかったですと思います。
- ・県内外の児童福祉を比較しつつ、どうしていけばいいかということも考えられる良い機会になりました。学生のうちに経験できることはしておいて、スキルを積みやすくすることが大切だと実感しました。
- ・社会福祉士の取得を目指す福祉専攻の大学に通っているため、座学で学ぶ以外の現場のことは見ることができて、非常に勉強になった。

- ・心理の専攻をとるまで心理職の仕事の内容であったり児相での活動、県職について全然知らなかったんですが、今回のツアーに参加してみて知らなかった部分を知れたり、心理職のやりがいの部分や心理職の良い所を知って、心理職に就きたいなど心から思いました。これからもっと見学に行ったり、学校内で授業をちゃんと受けて、立派に心理について考えられるようになりたいです。
- ・将来の進路を考える上でとても参考となった。子ども達一人一人の特徴や行動を捉えた環境が作られているのだということが、吉原林間学園の見学から分かった。
- ・施設がどんな行事を行っているかはホームページで見ることができそうですが、実際の生活は中々見る機会がないので見学することができ、貴重な経験となりました。
- ・とても分かりやすい説明と普段なら入ることのできない貴重な見学をさせていただきました！



- ・教授から児童福祉職志望の人向けのリッチなツアーがあると聞いて参加してみました。児相の仕事に興味があったくわしくお話を聞いてみたかったので、とても有意義なツアーでした。社福と公務員とれるように勉強がんばります。
- ・児童相談所で働くのは大変だなと改めて思った。一時保護だったり、警察への通報など、正解の見えないものばかりあるなと思った。
- ・吉原林間の棟内見学ができると思わなかったので、とても良い経験になった。
- ・林間学園が何を目的としているのかや、児相等の施設が設立された経緯など、何をするための仕事なのかが大まかに理解できた。
- ・今までは実際に子どもの生活の様子が見られなかったなので、こういう感じなんだということがつかめてよかったです。



(2) 職員の話聞いて、職員と話をして（フリートーク）

- ・最後の座談会形式の話をする時間がとてもよかったです。働いている人の生の声を聞くことができて、非常に有意義な時間になった。
- ・フリートークでは、自分の疑問に思ったことを気軽に質問できて良かった。
- ・普段、大学やそれ以外の生活で感じていた疑問を直接聞くことができてよかったです。
- ・児相の方の話と施設の方両方の話を聞くことができ、進路を考える上でとてもためになりました。

- ・フリートークでは楽しい雰囲気でも質問をしたり、貴重な話を聞くことができ、充実した時間となりました。
- ・現場で働く児童福祉の方とお話し、いろんなことをリアルに聞くことができよかったです。
- ・職員の方々がとてもステキで、一緒に働きたい！働いてみたい！と思いました。勉強して、また会えるように頑張ります！今日はありがとうございました。
- ・職員のみなさんがていねいに説明や私のお話を聞いていただけてとてもうれしかったです！ありがとうございました。
- ・フリートークで知りたかったこと、聞いてみたかったことを聞くことができたので、参加して良かったと思えた。



吉原林間学園の施設内（寮、心理治療室、食堂、体育館、学校など）を見学



(3) 見学ツアー等に対する参加学生からの意見

- ・もっと見学ツアーを頻繁に行っていただけるとありがたいです。
- ・今回のようなツアーをもっと開催してほしいと思う。やはり、現職の方の声を聞くことができる時間は貴重なため、また開催してほしい。
- ・このような見学ツアーが行われていることが嬉しいので、これからも続けていっていただきたいと感じた。
- ・見学ツアーに行く前は、心理職について知らない部分があって、県の職員も大学院を出ないと就くことが難しいと思っていました。フリートークの中で学部卒でも就けることを知りました。
- ・見学ツアーで説明があったような児相や吉林などの施設の目的とするところというか、何のために存在するのかといったところが、多くの大学生に伝わると良いと思いました。
- ・他の福祉施設も可能であれば見学してみたいと感じました。



職員（心理職・児童福祉職）とのフリートーク

